

法人向け会計ソフト比較ガイド

中小企業・小規模法人向けの最適ソフトを徹底比較！

目次

1. はじめに
2. 会計ソフト選定のポイント
3. 法人向け会計ソフト比較リスト
4. 法人向け会計ソフトランキングTOP3
5. 会計ソフト導入のステップ
6. 自社に合う会計ソフトを導入した場合の効果
7. ポジショニングマップ
8. 会計ソフト導入の鍵



1. はじめに

■中小企業によくある経理課題



- ・慢性的な人手不足
限られた人員で複数業務を兼任し、属人化が進む
- ・複雑な税務処理
法改正や仕訳ルールの把握に時間がかかり、ミスリスクも
- ・書類管理が体系化されていない
紙・Excel・メールが混在し、探す・まとめる作業が非効率

・・・今使っている会計ソフト、本当に最適ですか？

会計ソフトの見直しで、
業務効率化やミス削減ができる可能性があります。



2. 会計ソフト選定のポイント ～導入形態で比較～

	特徴・メリット
クラウド型 	いつでもどこでもアクセス可能、初期費用が低め
インストール型 	社内管理でセキュリティ強化、カスタマイズ性が高い

自社の業務スタイルや予算に合わせて最適な形態を選ぶことが重要です。



2. 会計ソフト選定のポイント ~他システムとの互換性~

銀行システムとの連携 🏦

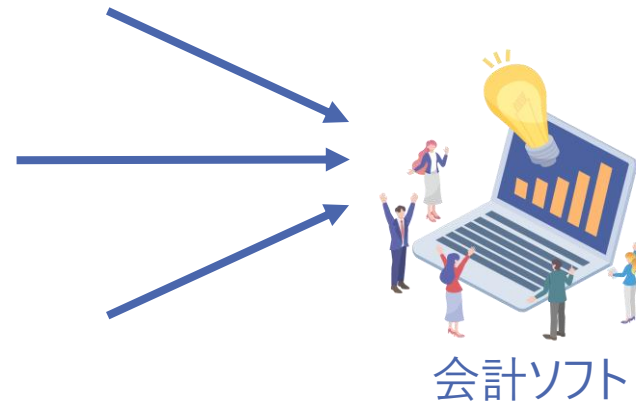
入出金データの自動取り込みで記帳ミス削減

POSシステムとの連携 🛒

売上データを自動で会計に反映

給与ソフトとの連携 👥

給与計算結果をそのまま仕訳化可能



普段ご使用のシステムとの互換性が高いほど、作業効率が飛躍的にアップします。

3. 法人向け会計ソフト比較リスト

比較項目	確認すべきポイント
タイプ	クラウド型 ☁️ or インストール型 📱
料金	月額/年額コスト 人数/機能による従量課金
無料トライアル	期間（例: 30日など） 制限の有無（機能/サポート）
機能	仕訳入力、レポート、決算処理などの基本機能 請求給与ワークフローとの連携機能
サポート体制	チャット/電話/メール対応 対応時間、導入サポートの有無
特徴	クラウド/インストール型 モバイル対応/AI自動仕訳など
注意点	データ移行の可否 初期設定の手間 カスタマイズ性の制限

専門家が選定！よく使われる7つの会計ソフトを主要項目で分析します ↓

マネーフォワードクラウド会計




タイプ	クラウド型●
料金	ひとり法人プラン：2,480円(税抜)~/月 スモールビジネス：4,480円(税抜)~/月 ビジネスプラン：6,480円(税抜)~/月
無料トライアル	30日間🖥️ (ビジネスプラン相当)
主な機能	自動仕訳/レポート機能 銀行/クレジットカード/POS連携 請求書/経費精算/給与/勤怠など他サービスと連携 部門別会計/予実管理/ワークフロー機能
サポート体制	メール/チャット対応 (平日) ヘルプセンター・動画チュートリアルあり
特徴	他クラウドサービス (経費・給与・請求) と高い連携性 自動仕訳精度が高く、業務効率化に強み リモート対応/多拠点管理に適している
注意点	電話サポートなし 導入初期は設定やルール整備が必要

評価まとめ

操作性	★★★★☆
自動化・連携	★★★★★
サポート体制	★★★★☆
コストパフォーマンス	★★★★☆

free会計

タイプ	クラウド型●
料金	ひとり法人プラン : 2,980円(税抜)~/月 スタープラン : 5,480円(税抜)~/月 スタンダードプラン : 8,980円(税抜)~/月 アドバンスプラン : 39,780円(税抜)~/月 エンタープライズ : お問い合わせ
無料トライアル	30日間  (選んだプランを利用可能)
主な機能	銀行口座・クレジットカードの自動連携で仕訳を自動化 請求書・経費精算・支払管理など一元管理が可能 レシートOCR取込・電子帳簿保存法に対応 試算表・決算書・経営レポートを自動作成
サポート体制	チャットサポート、メールサポート 電話サポート (スタープラン以上)
特徴	法改正対応や自動アップデートがスムーズ スタートアップや小規模法人への導入実績が多い
注意点	従量課金制度あり 導入初期は自社業務に合わせた設定・連携調整が必要



評価まとめ

操作性	★★★★★
自動化・連携	★★★★★
サポート体制	★★★★☆
コストパフォーマンス	★★★★☆



弥生会計オンライン



タイプ	クラウド型
料金	セルフプラン : 2,315円(税抜)~/月 ベーシックプラン : 3,133円(税抜)~/月
無料トライアル	最大2か月間
主な機能	自動仕訳・スマート取引取込、銀行/カード連携対応 レシート撮影で自動入力、レポート機能 消費税集計・申告書作成に対応 給与・請求管理ツール (Misoca等) と連携可能
サポート体制	メール・チャット対応 (平日) ベーシックプランは電話対応
特徴	従来型の会計操作に慣れた企業に向いている リモート対応可だが、操作はややマニュアル寄り
注意点	請求書発行は別サービス連携が必要 処理速度が遅いというユーザーの声も一部あり

評価まとめ



操作性	★★★★☆
自動化・連携	★★★★☆
サポート体制	★★★★☆
コストパフォーマンス	★★★★☆

新規申し込みは2025年3月に終了しました。
4月からは弥生会計Nextが新しくリリースされています。

弥生会計Next



弥生会計
Next

タイプ	クラウド型 
料金	エントリープラン : 2,900円(税抜)~/月 ベーシックプラン : 4,200円(税抜)~/月 ベーシックプラスプラン : 7,000円(税抜)~/月
無料トライアル	最大3か月間  (エントリープラン相当)
主な機能	自動仕訳/決算書作成 見積/請求書発行 証憑/部門管理 上位プランは経費精算・資金予測に対応、顧問税理士とのデータ共有
サポート体制	FAQ/チャットボット対応 ベーシックプラスは電話対応
特徴	従来型の会計操作に慣れた企業に向いている リモート対応可だが、操作はややマニュアル寄り
注意点	個人事業主には非対応 クラウド連携やAPI連携可能なサービスが限定的 高度な自動化/分析には不向き

評価まとめ

操作性	★★★★☆
自動化・連携	★★★★☆
サポート体制	★★★★☆
コストパフォーマンス	★★★★☆

ジョブカン会計

タイプ	クラウド型👤
料金	スタートアッププラン : 2,500円(税抜)~/月 ビジネスプラン : 5,000円(税抜)~/月 エンタープライズプラン : 50,000円(税抜)~/月
無料トライアル	30日間🖥️ (全機能使用可能)
主な機能	自動仕訳/レポート機能 銀行/クレジットカード連携/POS連携 請求書/経費精算/給与/勤怠管理などジョブカンサービスと連携 部門別会計・予実管理・承認ワークフロー機能
サポート体制	メール/チャット対応 (平日) ヘルプセンター・動画チュートリアルあり
特徴	自動仕訳精度が高く、経理業務の自動化に強み リモートワークや多拠点管理に適した設計 API連携・データ出力機能で外部サービスとも柔軟に接続
注意点	電話サポートなし 導入初期は設定・連携ルールの調整が必要



評価まとめ

操作性	★★★★★
自動化・連携	★★★★★
サポート体制	★★★★★
コストパフォーマンス	★★★★★

勘定奉行クラウド

タイプ	クラウド型☁
料金	iEシステム(基本機能)：7,750円(税抜)~/月 iJシステム(拡張機能)：11,750円(税抜)~/月+初期費用50,000円
無料トライアル	30日間無料（機能限定デモ環境）
主な機能	仕訳伝票の自動起票や承認ワークフローなど、伝票管理を効率化 銀行・カード明細の自動取込や証憑保管機能を標準搭載 奉行シリーズ連携・API対応で機能拡張や法改正にも柔軟対応
サポート体制	専用ヘルプデスク・電話・リモートサポート
特徴	小規模から上場企業まで対応できる高い拡張性と柔軟な運用設計 奉行シリーズやAPIによる他システムとの強力な連携性 自動更新・自動バックアップで常に最新環境を維持 Azure基盤やISO/SOC認証など万全のセキュリティ・信頼性
注意点	機能が多く設定が複雑になりやすく、知識のある担当者が必要 小規模事業者には機能がオーバースペックで扱いづらいケースもある コスト面はやや高め



評価まとめ

操作性	★★★★☆
自動化・連携	★★★★☆
サポート体制	★★★★★
コストパフォーマンス	★★★★☆

会計王

タイプ	クラウド+インストールのハイブリッド型🌐💻
料金	買い切り型：40,000円(税抜)～
無料トライアル	30日間体験版無料（デモ環境）
主な機能	銀行・クレジットカード明細を自動取込 伝票入力・出納帳入力など多様な入力方式に対応 勘定科目の追加・編集・削除が自由にでき、部門別集計も可能 各種帳票を自動作成/法令・電子帳簿保存法対応
サポート体制	オンライン相談、保守サポート（別途料金）
特徴	かんたん操作 × しっかり機能で初心者にも扱いやすい設計 業種テンプレート選択で初期設定を簡便化 中小規模・個人事業主からの支持高 使い手のスキルを選ばない柔軟性
注意点	複数台での同時編集やリアルタイム共有環境には弱い 大企業や多拠点システム連携には向かない可能性 保守契約費用やオプション機能の追加によってコスト増の可能性



評価まとめ

操作性	★★★★☆
自動化・連携	★★★★☆
サポート体制	★★★★☆
コストパフォーマンス	★★★★☆

3.法人向け会計ソフト比較リスト ～給与計算・請求書発行ソフトとの連携～

会計ソフト	給与計算ソフトとの連携	請求書発行ソフトとの連携	備考
MFクラウド会計	◎ MFクラウド給与と自動連携 給与確定時に会計へ自動仕訳	◎ MFクラウド請求書と双方向連携	統合プラットフォームで高評価
freee会計	◎ freee人事労務と自動同期 給与確定時に自動仕訳登録 部門・勘定科目マッピング可	◎ freee請求書と自動連携。 請求書作成から取引登録までワンストップ	自社内連携が非常に強力。 請求・給与ともに一元管理 可能
弥生会計Next	○ やよいの給与明細オンラインとCSV連携 自動仕訳は部分対応	○ やよいの見積・請求書とクラウド連携	弥生シリーズ内で整合性あり
ジョブカン会計	△ ジョブカン給与計算と連携（CSV）	△ ジョブカン見積/請求書と連携（CSV）	クラウド上で連携可だが 手動更新中心
勘定奉行クラウド	△ 奉行Edge給与奉行と連携 仕訳データのインポート形式	△ 奉行Edge請求管理電子化と部分連携	外部連携は限定的
会計王	△ 給料王と連携可（CSV取込）	△ 販売王とのCSV連携	クラウド自動連携は非対応

※ 「◎」= 自動連携対応、「○」= 部分的連携対応、「△」= CSV取込など手動連携対応

弥生会計オンラインは新規受付終了のため、表から割愛しております。

4. 法人向け会計ソフト ～導入シェアランキングTOP3～

1位 freee会計(32.3%)

簿記の知識がなくても簡単に扱える会計ソフト。
銀行口座やクレジットカード、ECサイトなどの明細を自動で取得して仕訳登録を行うなど、入力の自動化による経理・会計業務の効率化を実現。

2位 マネーフォワードクラウド会計(19.2%)

銀行口座やクレジットカードの取引明細などの情報から、仕訳候補を自動で作成。
請求書作成や勤怠管理、マイナンバー管理など、会計以外の業務にも対応可能。

3位 弥生会計オンライン(15.4%)

銀行やクレジットカードをはじめ、電子マネーやPOSレジ、請求書などのサービスと連携可能。
日々の取引データを自動で取得することが可能。

上記の情報は、MM総研が2017年8月に実施した調査結果に基づいています。最新のシェア状況や導入状況については、最新の調査結果をご参照ください。

4. 法人向け会計ソフト ～業界別人気ソフトランキング～

小売・卸売業

1. マネーフォワードクラウド会計
2. freee会計
3. 弥生会計Next

販売・在庫データの自動連携が必須のため、POSやEC対応に強いMF・freeeが人気。

IT・広告・マスコミ業

1. マネーフォワードクラウド会計
2. freee会計
3. 弥生会計Next

プロジェクト別の経費・売上管理に強く、クラウドで柔軟に運用できるfreee・MFが支持。

製造・機械業

1. マネーフォワードクラウド会計
2. 会計王
3. 弥生会計オンライン

原価管理や帳票出力の精度を重視する企業が多く、安定稼働の会計王が高評価。

上記の情報は、2025年5月26日に公開された「会計ソフトのおすすめ10製品（全36製品）を徹底比較！」のユーザーレビュー件数と満足度を基に作成しております。

4. 法人向け会計ソフト ～業界別人気ソフトランキング～

建設・建築業

1. 会計王
2. 弥生会計オンライン
3. freee会計

現場別の収支・原価集計に対応できる会計王や弥生が導入しやすく、現場経理の効率化に貢献。

不動産業

1. マネーフォワードクラウド会計
2. 弥生会計Next
3. freee会計

物件別収支や入出金の自動連携が便利で、マネフォが利用拡大。freee・弥生もクラウド共有性が好評。

医療・福祉・介護業

1. 財務大将
2. freee会計
3. 弥生会計Next

補助金管理や複数拠点対応を重視する業界で、財務分析に強い財務大将が安定した支持。

上記の情報は、2025年5月26日に公開された「会計ソフトのおすすめ10製品（全36製品）を徹底比較！」のユーザーレビュー件数と満足度を基に作成しております。

5. 会計ソフト導入のステップ



1. 資料請求・無料トライアル

機能や操作感を確認
サポート体制もチェック



2. 社内環境でのテスト導入

自社の業務フローで問題なく動作するか確認
他システムとの連携もテスト



3. 導入計画・スケジュール策定

導入担当者・関係部署の役割を決定
本番運用までのスケジュールを作成



4. 本格運用開始

実際の取引データで運用
定点観測・改善も忘れずに



5. 会計ソフト導入のステップ

～導入前に押さえておきたいポイント～

データ移行の準備

- ⚠ 過去取引データの形式・量を確認
- ⚠ フォーマット不一致でエラーになるケースあり

初期設定の確認

- ⚠ 勘定科目・消費税設定を誤ると修正が大変
- ⚠ 会計年度・期首残高の設定ミスで帳簿がずれる

権限・操作環境の整備

- ⚠ 社員ごとの権限設定を誤ると誤入力や情報漏れ
- ⚠ 操作範囲の管理が曖昧だとトラブルのもと



5. 会計ソフト導入のステップ

～運用開始後に気を付けたいポイント～

自社業務フローとの整合性

- ⚠ ソフトと自社内フローの整合性が取れていないと運用が複雑化
- ⚠ 勘定科目や仕訳ルールの不一致

他システムとの連携

- ⚠ 銀行・クレジット・POS連携の設定ミスで自動仕訳が止まる
- ⚠ 外部システムのアップデートで連携が切れることも

データ移行の準備

- ⚠ 業務共有不足で誤入力や操作ミスが増える
- ⚠ マニュアルや手順書が整っていないと混乱



6. 自社に合う会計ソフトを導入した場合の効果



経理作業の大幅効率化

導入企業の63.7%が「業務時間削減」を実感。
平均で月20～30%の工数削減、年間では約100時間/人の削減に相当。



会計ミスの減少

自動連携・自動仕訳で手入力を大幅削減。
入力ミス率を5% → 1%へ低減し、修正工数を80%削減。

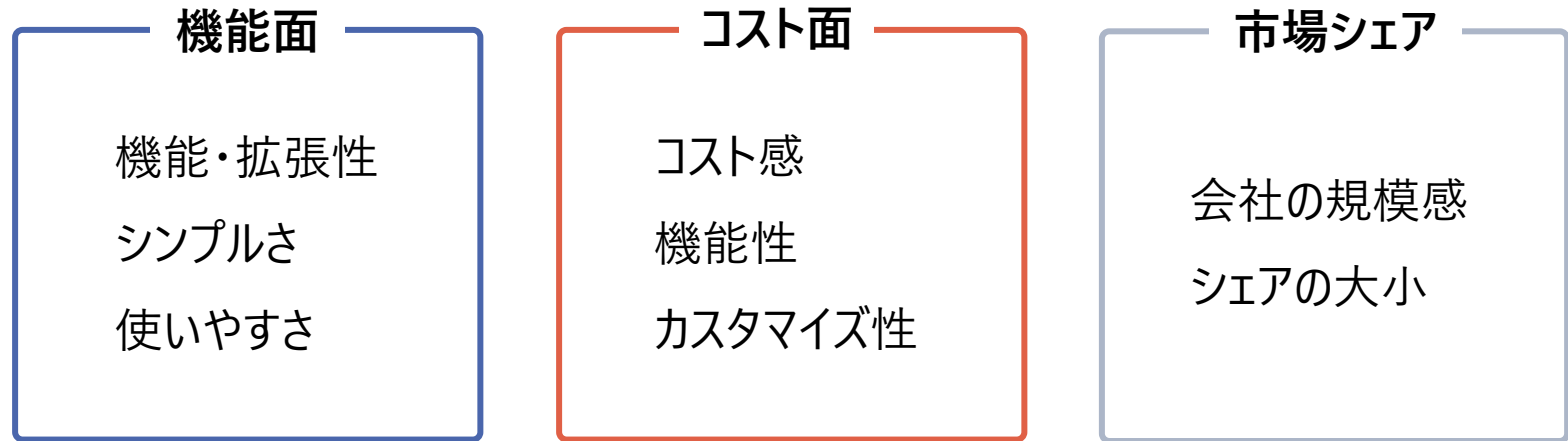


財務状況のリアルタイム把握

銀行残高・売掛・買掛を即座に可視化し、経営判断のスピードを月次 → 週次へ短縮。
管理会計導入率も+5pt向上。



7. ポジショニングマップ



各会計ソフトの特徴を「機能面」「コスト面」「市場シェア」の3つの観点から整理しました。

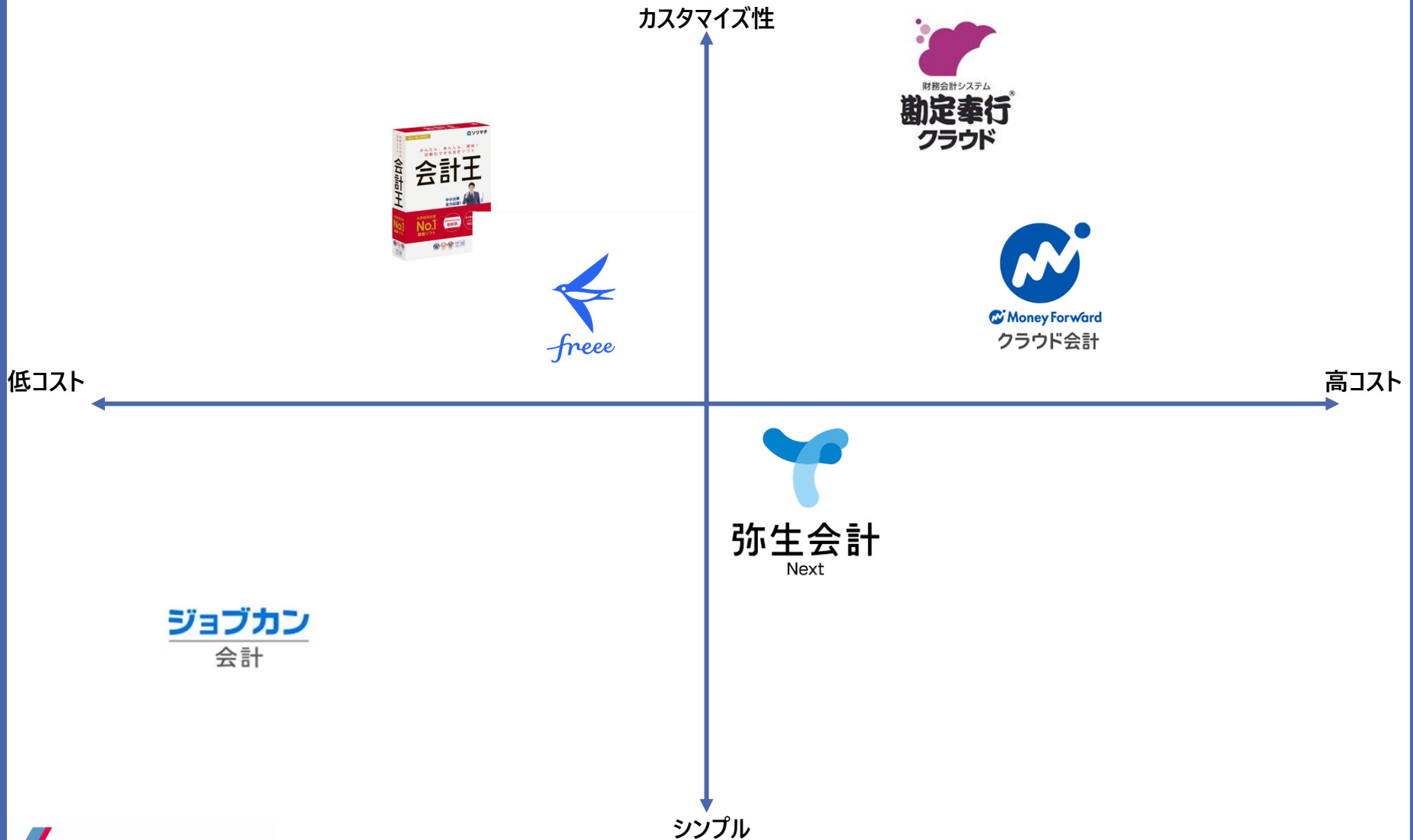
口コミや専門サイトの評価をもとに、中小企業における立ち位置を可視化しています。

自社の規模や運用スタイルに合う製品を検討する際の参考としてご覧ください。

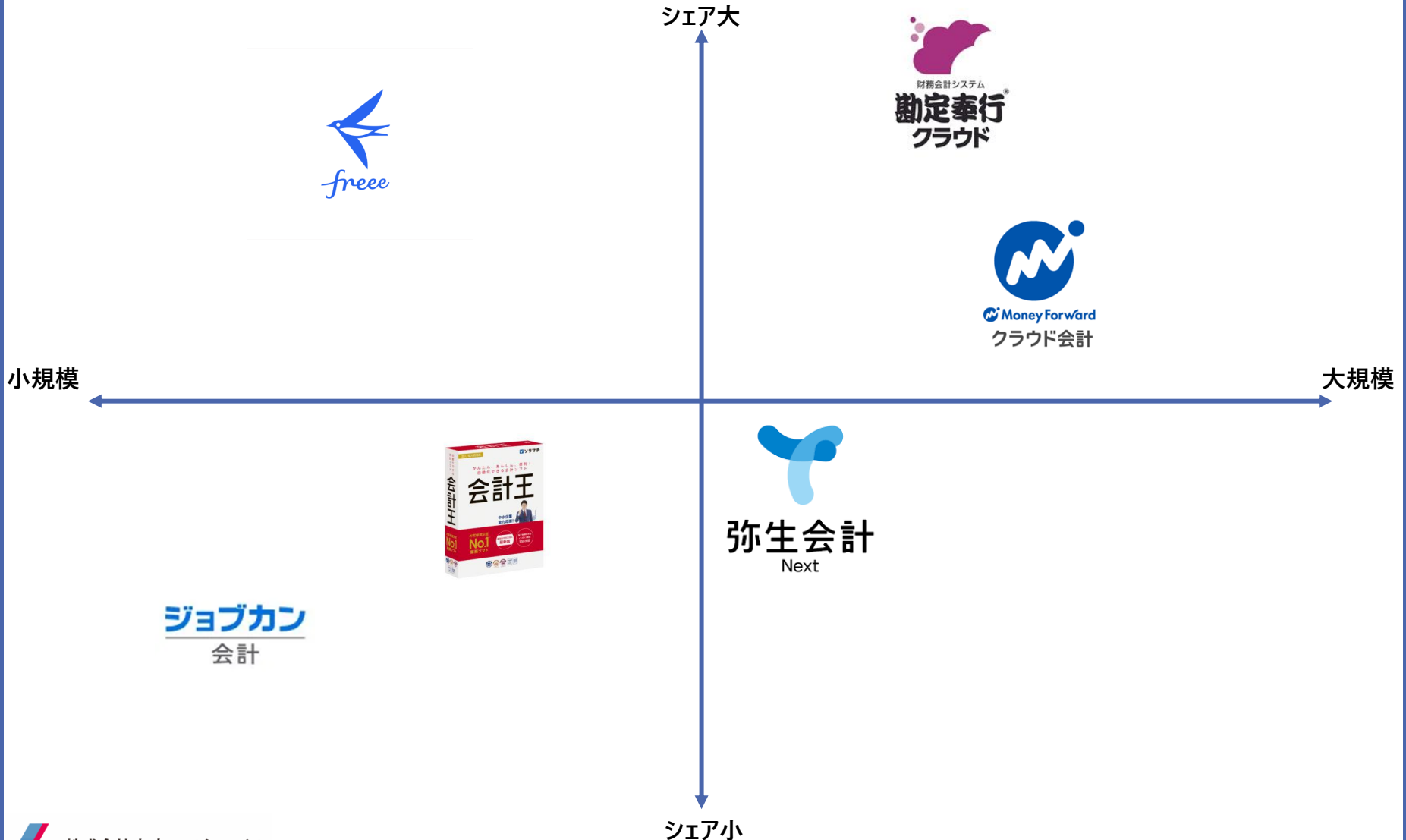
機能比較



コスト比較



市場シェア



8. 会計ソフト導入の鍵

会計ソフトを選ぶだけでなく、導入後の仕組みづくりが成果を左右します。

自社に合う会計ソフト



必要な機能を見極める

初期設定・ルール決め



現場で必要になる
入力・設定方法を決定

運用サポート体制



導入度の業務フォロー先を選定

自社に合う会計ソフトを選ぶことが、業務効率化の第一歩です。

しかし、導入後の初期設定やルール決めこそが成果を左右します。

現場に合った運用設計を行うことで経理の“見える化”を実現しましょう。